

リラ自然音楽のスピリチュアルな意味

これから三つの講話をいたします。

お聴きになっても何のことだか分からないとお思いの方もおいでになるでしょうし、なる程とお分かりになる方もあるかもしれません。中にはとんでもない話を聞いたと思われる方もおいでになるかも知れません。そういう話をさせて頂きます。

1 — 人は無限に幸福を求める

まず、人間とは何か、考えてみましょう。人間とは何でしょう、何だと思われませんか。人間とは求めるもの、人間とは食欲なものなんです。何を求めていますか、人によって色々でしょう。結局、幸福なんです、人は幸福を求めているんです。生まれてから死ぬまで、四六時中。

1. 幸福とは健康、食、トラブルのない生活

幸福とは何でしょう。私達の求めている幸福とは何だと思えますか。

人はこう思いますね、命あつての物種だ。健康でしょう、体の幸福、命がなければ幸福も何もない。だけど、それだけじゃダメよ、お金よ、食べる事が出来なければダメですよ。食です、食えることです。お金があつて食べる事に不自由なければそれでいいかと思うと、それだけではない。いろんなトラブルございます。お金がある、体も健康だけど悩

みがある、それ困る。一番簡単に言うと、この三つが私達の求める幸福だと思いますね。健康、食（お金）、トラブルのない生活。

2. でも、なぜか、もう一つ欲しがるモノがある

ところが、こういう人がいるんですよ。この前自然音楽セラピーのアンケートを書いて貰いました。その中の一人、Xさん、まじめな感想ですよ。「自己分析」という題で詩のよ
うに書いていました。

「自分は今とつても自由で幸せです。何の不足もないのだが、地球のことは人任せ、
年齢^{よわい}八十にもなるのだが、結局自分がよければそれでいいや、これが本心か。全く、
何の話にもならん。地球のことは申し訳で、愛も奉仕もうわつつら、下の心が自分
が先では、全く話にもならん」

この人、始めにこう言っていますよ。「自分は今とつても自由で幸せです。何の不足もな

いのだが」、これですよ。健康、食べるのにお金にも困らない、何のトラブルもない。それは自然音楽やつてればそうなつてきますよ。健康、トラブル解消、安定生活、つまり人間のホリスティックな健康ですね。だけど、どうも満足できない。「自分がよければそれでいい、これが本心か。全く、話にもならん」求めている、この人は。もうひとつ何かを求めているこの人、それ何か分かりますか。愛です。人を愛すること、愛する人に自分になること、愛に飢えてるの、求めているの。

と言うことは、人間とは何だと思えますか。人というものは体があるから、肉体があるからあの三つ、健康・食・トラブルなしの生活を欲しがっている。しかしもうひとつ、何か、かけがえのない何かを欲しがる、何か？ 愛を求めているものがあるんです。肉体じゃないんです、それは。お金と健康と一生トラブルなければそれでいい……もう一つある。魂と呼ぶ、人間は肉体と共にもうひとつ魂というものをもっているらしい。それはどうも、肉体とは別ものらしいよ。だからイエス・キリストはおっしゃった、「人はパンのみにて生きるものにあらず」と。人は肉体だけじゃないよ、パンだけで生きてるんじゃないよとね。もうひとつ欲しいものがある、欲しがる体がもうひとつ別にあるとね。それに気が付かない、肉体しか見えないから。さて、もうひとつの人間の体とは何でしょう。